

令和3年9月15日

吉川福祉専門学校
校長 久田晴實 様

吉川福祉専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 小潟 竜一

令和3年度 第1回学校関係者評価委員会報告

令和3年度第1回学校関係者評価委員会において実施した「令和2年度自己評価報告書」に対する評価結果について、下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価委員名簿

委員長：小潟竜一委員 副委員長：與儀忍委員

阿部 慎也	グループホーム サンパティオ 施設長
小潟 竜一	特別養護老人ホーム吉川平成園 事務課長
中山 望	埼玉県立三郷高等学校長
山岡 千賀子	介護保険複合施設憩いの里 介護職員 卒業生
與儀 忍	ケアセンター岩槻名栗園 副施設長

(五十音順)

2 学校教職員（陪席）

久田 晴實	吉川福祉専門学校長
池上 千恵美	同 教員
山本 晃市	同 事務長代理
田村 貴章	同 係長

3 学校関係者評価委員会の開催状況

日時：令和3年8月6日（金）9時30分～10時30分

会場：吉川福祉専門学校 演習室

参加委員：学校関係者評価委員5名、学校教職員4名（陪席）

4 委員会次第

開会

(1) 委嘱状交付

(2) 委員の紹介

(3) 校長挨拶（学校概要の説明）

(4) 議長選出

(5) 協議

① 教育活動の重点目標（令和3年度）

② 令和2年度「自己評価報告書」について

③ 学校に対する意見・要望など

(6) その他

① 今後の予定

② 事務連絡等

閉会

閉会后、授業参観及び学校施設見学

5 学校関係者評価結果

別紙のとおり

以上

令和3年度吉川福祉専門学校 第1回学校関係者評価報告書

令和3年9月15日

1 校長挨拶（学校概要の説明）

現在1年生34名、2年生21名、計55名の学生が在籍しており、地域の介護人材を輩出するために教育活動を行っております。昨年の4月と5月は緊急事態宣言によりオンラインに切り替え授業を実施しましたが、6月に解除されてからは対面授業に戻しました。学生・教職員ともに感染者は出ませんでした。施設実習については、訪問介護以外の実習は実施することができました。

本校は学生が多様なところが特徴であり、高校を卒業して間もない方、主婦の方、留学生も在籍しています。様々な年齢の方や経験の方がチームでケアにあたる介護の現場に近いのではないかと思います。そんな中、学生一人ひとりの個性を大事にし、地域の介護を支える人材を輩出すべく毎日の教育活動に取り組んでいます。

2 学校関係者評価の進め方の説明

校長挨拶の中で、「自己評価報告書」1. 学校の理念、教育目標、2. 本年度の重点目標と達成計画の報告説明が行われたため、3. 評価項目別取組状況から協議することとなった。

3 「令和2年度自己評価報告書」に対する評価の実施

1 学校の理念、教育目標

・特になし

2 本年度の重点目標と達成計画

・特になし

基準1 教育理念・目的・育成人材

・特になし

基準2 学校運営

・特になし

基準3 教育活動

・特になし

基準4 学修成果

4-13 【就職率】

(委員) 学生全員が希望した場所に就職できているということだが、卒業生の勤続年数等の傾向について知りたい。

(学校) 本科生は埼玉県介護福祉士修学資金貸付制度を利用している学生が多い。この制度を利用している学生は、5年間埼玉県内の福祉分野で働くことで貸付金の返済が免除になるため、その期間は同じ場所で勤める傾向が強い。委託訓練生も比較的同じ場所で働いている傾向が強い。

(委員) ある高校の先生から、高校卒業後に介護福祉士資格を取得した生徒が福祉施設に就職後2～3年で辞めてしまう人がいるとの話を聞いた。

(委員) 職業訓練生として吉川福祉で学んでいた。仕事が続いている理由の一つはキャリアステージを教えていただいたことである。介護は年齢的にも体力勝負のところがあり続けていけるのか不安があったが、5年間勤めたらケアマネジャーの受験資格が取得でき、埼玉県は介護福祉士資格を取得していれば相談員もできるというような、現場のサブ的なお仕事ができるということを教えていただいた。また、就職のサポートをしていただく時に理想と現実のギャップを含め、学校でその先の話までされるといいのではないかと。

4-14 【資格・免許の取得率】

(委員) 施設では収入を得るために加算をとる必要があり、介護福祉士資格の加算は大きい。また、令和8年度卒業生まで介護福祉士国家試験に不合格だった卒業生にも、卒業後5年間は介護福祉士の有資格者として勤めてもらえることは大きい。

基準5 学生支援

5-16 【就職等進路】

(学校) 就職面談時にジョブカード作成アドバイザーが担任と二人で、後期から就職のための面談を行っている。特に就職活動をしていない学生には熱心に指導している。内定したと伝えれば何も言われなと思っている学生(委託訓練生)がおり、そういう学生は就職後すぐに辞めてしまうことがある。委託訓練生の中にそういった学生が稀にいる。

(学校) 学生には、卒業後も福祉施設で長く働いてもらいたいと思っている。就職したA施設がダメだったから介護職を離れてしまうのではなく、B施設やC施設といった他の施設で働いてもらいたい。

基準 6 教育環境

6-23 【学外実習・インターンシップ】

- (委員) 昨年度もコロナ禍のなか施設実習を実施され学びを継続されているお話を聞いて、それがいかに難しいことか毎日直面している問題である。教育活動の制約がある中で施設実習を実施できたことは本当に素晴らしいと思う。同じ教育現場として、工夫されていることがあれば勉強させていただきたいと思う。
- (学校) 何より各施設様が、次の介護人材を育てるということで、実習生の受け入れ態勢を整えていただいたことに感謝している。
- (委員) コロナのリスクは大きく学族の面会も控えているなか実習生を受け入れている。ただ、実習生を受け入れることは職員にとっても教えることの大切さに気付く職員教育にもなる。当施設ではリスクを減らすために、実習中は学生に自宅と実習先の往復のみをお願いしている。また、PCR検査の陰性を確認しながら、できる限り協力したいと思っている。
- (委員) 当施設としても、養成校の学生の皆さんを介護スタッフの一員だと思っているので、実習生の受け入れを断る理由はなかった。
- (委員) 感染予防対策を徹底しながら、実習を楽しんで実施してもらいたいという思いで実習生の受け入れをしている。
- (委員) 職員と同じようなケアをしていけば、ある程度感染は防げるのではないかとと思っている。

基準 7 学生の募集と受入れ

7-25 【学生募集活動】

- (委員) 学生募集は高校生主体なのか。
- (学校) 高校生だけでなく近隣のハローワークにも募集活動を行っている。
- (委員) 当施設で介護福祉士修学資金貸付制度の話をしたところ、職員は知らなかった。養成校で学びたい人の中には、親御さんや親戚の方が介護職員として働いている姿を見て自分も働きたいと思っている人もいる。施設で働いている職員で中高生のお子さんをお持ちの方にアピールする方法もあるのではないかと。
- (委員) YouTubeを拝見し、文字より映像の方がいいと感じた。写真より動画の方が学校の様子が分かりやすいので、今後も取り組みを続けていただきたい。

基準 8 財務

・特になし

基準 9 法令等の遵守

・特になし

基準 10 社会貢献・地域貢献

・特になし